

No.	大項目 （政策目標等）	中項目 （基本施策等）	区分	No.	ページ	旧	新
1	基本構想	本市を取り巻く社会情勢	パブリックコメント	2	基本構想8ページ～	基本構想第２部の各章構成 1 本市を取り巻く社会情勢 2 茨城県総合計画における本市の位置づけ 3 本市の姿 4 本市の財政状況・・・	基本構想第２部の各章構成 1 本市の姿 2 本市の財政状況 3 本市を取り巻く社会情勢・・・ とし、茨城県総合計画における本市の位置づけを削除
2	基本構想	茨城県総合計画における本市の位置づけ	パブリックコメント	3			
3	基本構想	将来像	パブリックコメント	4	基本構想44ページ	この将来像を胸に、結婚、出産、子育て、教育、社会経済活動、生きがい等、生涯にわたり誰もがあらゆるライフステージで、輝く未来を創り上げることができる石岡市を目指します。そのためには、安全で安心なまちづくりや、魅力ある様々な地域資源を活かしたまちづくり、対話による学びを通じた共創のまちづくりを進める必要があります。複雑化・多様化する社会情勢に柔軟に対応しながら、持続可能な社会を創り上げていきます。	この将来像の 達成に向け、誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現への取組を様々な主体が共有し 、結婚、出産、子育て、教育、社会経済活動、生きがい等、生涯にわたり誰もがあらゆるライフステージで、輝く未来を創り上げることができる石岡市を目指します。そのためには、安全で安心なまちづくりや、魅力ある様々な地域資源を活かしたまちづくり、対話による学びを通じた共創のまちづくりを進める必要があります。複雑化・多様化する社会情勢に柔軟に対応しながら、持続可能な社会を創り上げていきます。
4	基本構想	政策目標	パブリックコメント	8	基本構想48ページ	シビックプライド、プロモーション、インバウンド、フィルムコミッション、スカイスポーツ、トレイルラン、プラットフォーム、マネジメントシステム等の横文字	各横文字等についてわかりやすい表現にします。
	基本構想	政策目標	他		基本構想52ページ	さらに、高齢者が住みなれた地域で生涯にわたり健康で暮らすことができるよう、社会参加の環境整備や生きがいづくりの活動を推進するとともに、地域に住むすべての人がお互いの多様性を認め合い、地域社会で活躍できるまちづくりを目指します。	さらに、高齢者が住みなれた地域で生涯にわたり健康で暮らすことができるよう、 バリアフリーの方針づくりを進め 、社会参加の環境整備や生きがいづくりの活動を推進するとともに、地域に住むすべての人がお互いの多様性を認め合い、地域社会で活躍できるまちづくりを目指します。
5	3 安全・安心	6 防犯対策の充実	パブリックコメント	15	基本計画71ページ	主要な取組「地域防犯環境の整備」 市民が安全・安心に生活できる環境を整備するため、地域における犯罪防止に寄与するエンゼルパトロールの活動を広報し、登録者の増加を図ります。	主要な取組「地域防犯環境の整備」 市民が安全・安心に生活できる環境を整備するため、 防犯カメラの設置 や地域における犯罪防止に寄与するエンゼルパトロールの活動を広報し、登録者の増加を図ります。
6	4 都市基盤・環境	2 都市機能の集約化	他		基本計画78ページ～		現状・これまでの取組 ●石岡駅を中心とした地域で、すべての人が安全・快適に通行できるバリアフリー歩行者空間ネットワークの整備推進を図ることを目的として、「石岡市交通バリアフリー基本構想」を策定し、駅の橋上化をはじめとした周辺のバリアフリー整備を進めています。 課題 ●高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の改正に伴い、市内全域にわたるバリアフリーの方針や高齢者や障がい者等が利用する施設が集積している地域において重点的かつ一体的なバリアフリー推進のための方針づくりが求められています。 関連計画 ・石岡市交通バリアフリー基本構想（平成17年度～）

No.	大項目 （政策目標等）	中項目 （基本施策等）	区分	No.	ページ	旧	新
7	4 都市基盤・環境	3 交通ネットワークの整備について	パブリックコメント	17	基本計画82ページ～	成果指標 「自家用車に頼らずに日常生活ができる市民の割合」 課題 ●今後、高齢化がより進むことで、高齢者の運転免許の返納にどのように対応するかが課題となっています。また、情報通信技術等を活用した新たな輸送手法等の検討も必要になってきます。	成果指標 「市高齢者の運転免許返納件数（年間）」 課題 ●今後、高齢化がより進むことで、 高齢者の運転免許の返納に伴う移動制約者が増えることが予想され、情報通信技術等を活用した新たな輸送手法等の検討や生活支援などが求められています。
8	5 健康・福祉	2 地域医療の充実について	パブリックコメント	20	基本計画112ページ～	現状・これまでの取組 ●令和３年度からは、主な課題（産科、小児科、緊急診療）解決に向け、それぞれ個別の対策に取り組んでおります。令和３年７月には、小児科の緊急診療を開設しました（こども休日診療）。	現状・これまでの取組 ●令和３年度からは、主な課題（産科、小児科、緊急診療）解決に向け、それぞれ個別の対策に取り組んでおります。令和３年７月には、 こども休日診療として小児科の緊急診療を開設し、緊急診療体制は小児科と歯科の２科目となっております。 主要な取組 小児科医療の拡充 小児科の緊急診療を維持し、小児科医療の拡充のための対策を行います。
9	5 健康・福祉	5 高齢化福祉・介護予防の充実	他		基本計画125ページ		課題 ● 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の改正に伴い、市内全域にわたるバリアフリーの方針や高齢者や障がい者等が利用する施設が集積している地域において重点的かつ一体的なバリアフリー推進のための方針づくりが求められています。
10	6 子育て・教育・学び	4 個別の事情を踏まえた子ども・家庭支援の充実	パブリックコメント	26	基本計画150ページ	現状・これまでの取組 ●児童相談所と連携し、児童虐待の防止、養育環境に問題を抱えた児童と保護者の相談・支援を行っています。	現状・これまでの取組 ●児童相談所と連携し、児童虐待の防止、養育環境に問題を抱えた児童と保護者の相談・支援を行っています。 ヤングケアラーと言われる子どもについても、状況によってはネグレクト（育児放棄）の児童虐待事案へつながるリスクがあり、スクールソーシャルワーカーが保護者面談や家庭訪問を行い、必要に応じて関係機関と情報共有して連携を密にし、本人及び保護者の支援を行っています。 ※ヤングケアラー，教育カウンセラー，スクールソーシャルワーカーについてコラムを追加
11	6 子育て・教育・学び	5 創意ある学校教育の推進	パブリックコメント	28	基本計画154ページ	あるべき将来の姿 ふるさと石岡の「次代の担い手」を育成する創意ある学校教育を推進し、児童生徒の「生きる力」が育まれています。	あるべき将来の姿 ふるさと石岡の「次代の担い手」を育成する創意ある学校教育を「 対話・学び 」により推進し、児童生徒の「生きる力」が育まれています。
12	6 子育て・教育・学び	7 学校教育環境の整備・充実	パブリックコメント	37	基本計画163ページ	主要な取組 校務支援システムの運用 学校におけるコミュニケーションの円滑化をはじめ、システム導入による業務の円滑化を図り、児童生徒と向き合う時間を創出します。	主要な取組 教員の働き方改革 学校におけるコミュニケーションの円滑化 や校務支援システム導入、部活動への教員の関わり方の検討を進めることで業務の効率化を図り、児童生徒と向き合う時間を創出します。

No.	大項目 (政策目標等)	中項目 (基本施策等)	区分	No.	ページ	旧	新
13	7 産業・経済	4 農業の振興 5 里山の保全対策	パブリックコメント	42	基本計画184ページ	現状・これまでの取組 ●耕作条件が悪い農地は、担い手が借り受けないケースがあります。また、知らない担い手に、自分の農地を貸すことに抵抗がある場合もあります。 主要な取組 農地の集積・集約化及び農村環境維持管理の推進 担い手への農地の集積・集約化を推進し、経営規模の拡大を図ることで、儲かる農業を実現します。また、地域住民が主体となり、水路や農道等の維持管理を自ら行うことで、関心が薄れていく農村環境の再構築（保全管理）を図ります。 担当課 農政課	現状・これまでの取組 ●耕作条件が悪い農地は、担い手が借り受けないケースがあり、耕作放棄地増加の要因になっています。 課題 ●農地の集積・集約化や遊休農地の解消、担い手の確保・育成により、農地利用の最適化の取組をさらに強化する必要があります。 主要な取組 農地の集積・集約化・有効活用及び農村環境維持管理の推進 担い手への農地の集積・集約化を推進し、遊休農地の発生防止と解消を図り、経営規模の拡大による儲かる農業を実現します。また、地域住民が主体となり、水路や農道等の維持管理を自ら行うことで、関心が薄れていく農村環境の再構築（保全管理）を図ります。 担当課 農政課 農業委員会事務局
14	8 地域・文化	4 多様性の尊重と共生社会の構築	パブリックコメント	47	基本計画204ページ～	現状・これまでの取組 ●多様性を尊重する社会への変革が進んでおり、年齢や性別、国籍、障がいの有無、価値観などのあらゆる個の違いを認め合い、誰もが対等な関係のもと、一人ひとりが活躍できる社会の実現が求められています。 課題 ●男女共同参画社会の実現に向けて、男女が互いをよりよく理解し合うとともに、固定的な性別役割分担意識の解消を図っていく必要があります。 主要な取組 男女共同参画社会の実現 性別に捉われず、「自分らしく」対等な社会の構成員として男女が共に活躍できる社会の実現を目指します。 ワーク・ライフ・バランスの推進 男女が共に働きやすく、個々の事情や価値観に応じた働き方と多様な生き方を選択し実現できる環境の整備に取り組みます。	現状・これまでの取組 ●多様性を尊重する社会への変革が進んでおり、L B G T Q（性的少数者の総称）の概念が一般化しつつあります。年齢や性別、国籍、障がいの有無、価値観などのあらゆる個の違いを認め合い、誰もが対等な関係のもと、一人ひとりが活躍できる社会の実現が求められています。 課題 ●共生社会の実現に向けて、性別によらず互いをよりよく理解し合うとともに、固定的な性別役割分担意識の解消を図っていく必要があります。 主要な取組 共生社会の実現 性別に捉われず、「自分らしく」対等な社会の構成員として誰もが共に活躍できる社会の実現を目指します。 ワーク・ライフ・バランスの推進 誰もが共に働きやすく、個々の事情や価値観に応じた働き方と多様な生き方を選択し実現できる環境の整備に取り組みます。 ※LGBTQについてコラムを追加
15	その他全般	その他全般	パブリックコメント	55	全体		SDG s のアイコンを169のターゲットの踏まえたうえで再設定します。